



AUTO COLOR AWARDS 2009

自動車のカラーデザインコンテスト

「オートカラーアワード 2009」

グランプリ候補カラー決定！！

「オートカラーアワード 2009」2次審査会・発表会
2008年12月16日(火)

<http://www.jafca.org/seminar/autocolor/>

優れた自動車のカラーデザインを顕彰する「オートカラーアワード 2009」。去る2008年11月18日に1次審査会が行われ、32のエントリーの中から、下記の14デザインが入選いたしました。この中から12月16日の2次審査会にて、グランプリ以下各賞が決定いたします。 ※メーカー名の五十音順。ネームはメーカー名・車名・色名 (ext. はエクステリア、int. はインテリアの色名) です。

●スズキ「スブラッシュ」

ラグーンターコイズメタリック2 (ext.)
ターコイズブルー & ターコイズ (int.)
ヨーロッパ発ジャパニーズデザインをキーにした、スズキの世界戦略車第4弾。20~40代女性をメインターゲットに開発しました。エクステリア、インテリアともにターコイズを使用し、フレッシュでみずみずしい躍動感のある色になりました。



●日産「キューブ」

クラフトダンボール (メタリック) (ext.)
ラウンジブラウン (int.)
クルマにとって新鮮な天然中間色「素色 (すいろ)」をテーマに、高い質感とより自然な親近感を効果的に表現。身近な素材「ダンボール」をモチーフにしました。インテリアは、クラッシュ加工を施し、洗練さとリラックス感のあるムードです。



●スズキ「ラバン」

アロマティックアクアマティック (ext.)
アイボリー (int.)
20代女性をターゲットに、「心に響く色」と考えました。周りに水分を蒸散しているかのような、みずみずしく爽やかなボディカラー。アロマティックでアクアな色です。インテリアは、アイボリーに、オレンジと濃紺をアクセントにしています。



●日産「フェアレディZ」

プレミアム ルマンブルー (3コートパール) (ext.)
グレー (int.)
グラマラスなボディシェイプにこそ似合う、色と質感を追求しました。突き抜けた青空や、ルマンのレースシーンのようなパッションがイメージの原点。クールなグレーのインテリアで大人に似合うコーディネートに。



●ダイハツ「タントカスタム」

ミスティックブルーマイカメタリック (ext.)
ブラック & ミドルグレー (int.)
強い個性とこだわりを持ったユーザーに送る豪華で華やか、かつ優雅な雰囲気カラー。量産車では世界初の「アロワナファンタジー (紅色発色光輝材)」を使用。インテリアは、ブラック基調で、優雅さと妖艶さを表現しています。



●富士重工「エクシーガ」

サファイアブルーパール (ext.)
ブラック (int.)
非常に鮮やかなブルーは、見る角度で微妙に色を変化させ、色のうつろいによる「深み効果」を持たせています。これにより、宝石のような深く輝く質感を表現しました。インテリアは、鮮やかで華やかな黒です。



●ダイハツ「ムーヴコンテ」

ミストブルーマイカメタリック (ext.)
ベリーレッド & ウォームグレー (int.)
エクステリアは爽やかで温かみのあるソリッドライクブルー。陶器のような豊かで温もりのある質感です。インテリアは、ウォームグレーにベリーレッドのアクセントを入れ、華やかさを演出しました。



●ホンダ「インスパイア」

ポリッシュドメタルメタリック (ext.)
ビターブラック (ブラック & ダークブラック) (int.)
遊び尽くした先にたどり着いた、大人のセダン。定番的な色域ながら、今までにない強い輝きと高級感を生み出しました。特に陰影のコントラストの強さにはこだわりがあります。インテリアでもスタイリッシュな大人の渋さを追及しています。



●トヨタ「iQ」

ディーアメージストマイカメタリック (ext.)
プラム (int.)
小さいからこそ価値がある、常識を覆す「クラスレスコンパクト」な車に相応しく、キーカラーとして難度の高いパールに挑戦。先端の技術により、アメージストのオーガニックな美しさを、最大限に高めることを狙いました。



●ホンダ「FCX クラリティ」

スターガーネットメタリック (ext.)
ウォームグレー (int.)
燃料電池車、量産車の第一歩。世界初となる新規開発の顔料を使用し、従来にない塗装の深みと深紅のハイライトを両立し、次世代の上質感を表現しています。インテリアはバイオファブリックを使用したグレーです。



●トヨタ「レクサス IS」

ブロードマイカメタリック (ext.)
オーキッドブラウン & エクリュー (int.)
ISの新たなユーザーとして、自分の意志を豊かに表現できる女性に目を向け、官能性、フェミニン、大胆、セクシーさのニュアンスを引き出すブロードに着目。ダイナミズムの中にエレガンスが際立つ、ブロードマイカメタリックを創出しました。



●ホンダ「オデッセイ」

プレミアムミスティックナイトパール (ext.)
ロイヤルインディゴ & ブラック (int.)
豊かに、ダイナミックに流れるような連続曲面が、躍動、官能を表現。見る角度によって色が大胆に変化し、色気、艶やかさを感じさせます。インテリアは、シャープでダイナミックなインディゴと黒のコーディネート。



●日産「ムラーノ」

グレイッシュブロンズ (メタリック) (ext.)
ベージュ (int.)
ベネチア・ムラーノ島の名産「ムラーノガラス」の豊かな表情からのインスピレーション。躍動感、存在感、彫刻的な表情をもつボディスタイルを引き立てるために、色調や素材のバランスにこだわり抜きました。インテリアは落ち着いたベージュの2トーンです。



●マツダ「マツダアテンザ」

ライラックシルバーメタリック (ext.)
カムホワイト (int.)
幽玄、凛々、精緻という、日本の文化や美意識と強いつながりをもったキーワードを軸に開発。エクステリアでは、淡いパールとシャープなシルバーで躍動感と緊張感を、インテリアは、静かで繊細な佇まいを表現しました。



上記の入選車からグランプリ以下各賞が選ばれます。

今回の入選カラーデザインでは、いつになくブルー系が多く選ばれています。また、豊かな表情をもつブラウン系も目をひきます。その他いずれも充実したカラーが出揃いました。スズキのラバンや日産キューブ、フェアレディZなどは発表されたばかりのもので、また、ホンダの燃料電池車 FCX クラリティは非常に台数の少ない車です。